

令和5年 第4回定例会

# 一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (19人、60項目)	備考
1	山岸 太一	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 介護労働者の待遇改善と高齢者の負担軽減による、安心して利用できる介護保険制度に向けて</li> <li>2 学びの支援と子育て支援のための給食費無償化の実施について</li> <li>3 下水道施策における「調整池」の役割変更について</li> <li>4 ペットの終生飼育のための飼い主への啓発と支援の実施について</li> </ul>	
2	つ の じ 寛 美	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 街頭防犯カメラの維持・更なる拡充について</li> <li>2 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について</li> <li>3 小中学生の不登校対策について</li> </ul>	
3	池 田 英 司	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 プラスチックごみについて</li> <li>2 街路樹等の管理について</li> <li>3 地球温暖化による気候変動の影響について</li> <li>4 想定浸水深掲示板について</li> </ul>	
4	村 上 洋 子	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食納入食材の産地偽装疑いについて</li> <li>2 (仮称)稲城市こども計画の策定について</li> <li>3 稲城市いじめ防止基本方針について</li> <li>4 養育費の取り決め、確保に関する支援について</li> </ul>	
5	坂田たけふみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 生活困窮家庭への習い事支援事業について</li> <li>2 安全安心でおいしい給食について</li> <li>3 路線バスの「2024年問題」について</li> </ul>	
6	岩佐 ゆきひろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 稲城市立学校適正学区等検討委員会等について</li> <li>2 プレミアム付き稲城なしのすけ商品券デジタル版について</li> <li>3 富士通南多摩工場跡地について</li> </ul>	
7	佐 藤 しんじ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 子どもたちの健康、生命を守る熱中症対策等について</li> <li>2 交通安全対策の諸課題について</li> <li>3 人生100年時代における、リカレント教育の更なる推進について</li> </ul>	
8	角 田 政 信	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 東京ジャイアンツタウン構想について</li> </ul>	
9	川 村 あ や	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 健康管理アプリの導入について</li> <li>2 稲城市公民連携デスクの役割について</li> <li>3 だれもが楽しめる公園づくりについて(インクルーシブパーク)</li> </ul>	
10	岡 田 ま な ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 統一協会の反社会的活動から市民の暮らしを守る取り組みについて</li> <li>2 路線バス・シバスの拡充について</li> <li>3 少人数学級の拡充について</li> <li>4 大学の奨学金返還支援について</li> <li>5 小中学校特別教室(図工室など)へのエアコン設置について</li> </ul>	
11	中 島 健 介	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 稲城市の用水路の管理について</li> <li>2 市施行土地区画整理事業と今後の区画整理事業について</li> </ul>	
12	武 田 ま さ ひ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 深刻化する東京の買物弱者等の問題について</li> <li>2 南山西部地区の緑地の保全について</li> </ul>	

13	湯谷 ひろし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 稲城市における物価高対策について</li> <li>2 高齢者、障がい者及び成年被後見人にとって、さらに利用しやすい投票環境を目指して</li> <li>3 空家等対策の推進に関する特別措置法改正後の市内の空き家対策について</li> </ol>	
14	梶浦 みさこ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開業・起業・創業支援と中小企業・小規模事業者の事業承継支援の推進について</li> <li>2 罹災証明のオンライン・Web申請によるデジタル化について</li> <li>3 保育所入所のオンライン・Web申請によるデジタル化について</li> <li>4 図書館利用カードのアプリ化等によるWeb表示について</li> </ol>	
15	田島 きく子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小中学校校舎の断熱対策について</li> <li>2 高齢化による難聴者の聞こえの支援について</li> <li>3 私立保育園の質の確保のための市の役割について</li> </ol>	
16	土居 のりひろ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リチウムイオン電池やスプレー缶などの有害物の処理に関して</li> <li>2 外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金に関して</li> <li>3 地区交番の設置に関して</li> </ol>	
17	榎本 久春	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中学校の部活動について</li> <li>2 緑の保全と創出に重要な役割を果たす小田良谷戸公園と清水谷戸緑地について</li> <li>3 高齢者を支えるサービスについて</li> </ol>	
18	いそむらあきこ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 誰一人取り残されない不登校支援について</li> <li>2 性犯罪・性暴力から子どもたちを守る取組みについて</li> <li>3 中学校の調査書点(内申点)について</li> </ol>	
19	鈴木 誠	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災に関する稲城市の取組みについて</li> <li>2 団体間が共有する備品の活用について</li> <li>3 平尾地区の抱える諸課題(交通、商業)について</li> <li>4 稲城市の歳入増加施策について</li> </ol>	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>介護労働者の待遇改善と高齢者の負担軽減による、安心して利用できる介護保険制度に向けて 介護事業所における人材不足が大きな社会問題になっています。賃上げなどの介護労働者の待遇改善と高齢者の負担軽減により、誰もが安心して利用できる介護保険制度にしていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 介護労働者の待遇改善について</p> <p>①10月に東京都が公表した「介護報酬改定等に関する緊急提言」の概要について聞きます。</p> <p>②国が補正予算で実施しようとしている「介護職員の賃上げ」の制度概要について聞きます。</p> <p>③市内でも「訪問介護職員が集まらない」「介護支援専門員が足りない」という声を聞くが、市内事業所の介護人材の現状について認識を聞きます。</p> <p>(2) 介護保険料の値下げについて</p> <p>①直近の介護保険運営協議会で介護保険料について議論された内容について聞きます。</p> <p>②令和4年度決算数値に基づいて、準備基金残高から1号被保険者数を除した数字について聞きます。</p> <p>③準備基金などを原資にして次期介護保険料を値下げするべきと考えるが認識を聞きます。</p>	
2	<p>学びの支援と子育て支援のための給食費無償化の実施について 都内23区すべてで学校給食費が無償化されることになりました。多摩地域でも無償化が広がっています。学びの支援と子育て支援を前進として、給食費の無償化を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 学校給食法における「学校給食の目標」について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(2) 令和5年6月13日に閣議決定された国の「こども未来戦略方針」において、「学校給食費の無償化」について述べられている内容について聞きます。</p> <p>(3) 現在、都内62区市町村においてなんらかの給食費補助を行っている自治体の補助の内容別の自治体数について聞きます。</p> <p>(4) 市内の小中学校で学校給食費を無償化するために必要な予算額について聞きます。</p> <p>下水道施策における「調整池」の役割変更について  稲城南山東部土地区画整理事業の「調整池」の建設費約21億円を市が肩代わりすることについて、市民から驚きと疑問の声が上がっています。豪雨災害対策の着実な実施と政策変更における慎重な検討を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 「稲城市下水道プラン」と「稲城市下水道事業経営戦略」について</p> <p>① 下水道プランの「4.2 雨水排水対策-①公共下水道(雨水)の整備状況」において述べられている内容について聞きます。</p> <p>② 下水道プランの「6.2 雨水排水対策」において述べられている内容について聞きます。</p> <p>③ 経営戦略の「4 投資計画」において、令和6年度～令和8年度まで「汚水・雨水事業」として計画されている事業内容と年度毎の事業費について聞きます。</p> <p>(2) 稲城南山東部土地区画整理事業における「調整池」について</p> <p>① 「調整池」の概要について聞きます。</p> <p>② 高盛土工事における「3-1号調整池」および「3-2号調整池」の位置づけや役割について聞きます。</p> <p>(3) 下水道施策における「調整池」の位置づけについて</p> <p>① これまでの「調整池」の位置づけについて聞きます。</p> <p>② 現在の「調整池」の位置づけについて聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>ペットの終生飼育のための飼い主への啓発と支援の実施について</p> <p>犬や猫などのペットを飼育する飼い主の高齢化により、様々な課題も出てきています。終生飼育という飼い主の責任を果たしてもらうための必要な啓発や支援を求める立場から質問します。</p> <p>(1)「ペットを守る緊急連絡カード」について</p> <p>①動物愛護管理法で定められている「終生飼養」の原則について聞きます。</p> <p>②「ペットを守る緊急連絡カード」の位置づけや役割について聞きます。</p> <p>(2) 高齢者世帯におけるペット飼育の課題について</p> <p>①高齢者世帯におけるペット飼育に関する課題について聞きます。</p> <p>②「ペットを守る緊急連絡カード」の高齢者世帯への普及活用について認識を聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>街頭防犯カメラの維持・更なる拡充について</p> <p>公明党は、犯罪抑止や未然防止を目的としている街頭防犯カメラの設置を強く訴え、要望して参りました。防災・防犯、高齢者や子どもたちの見守りなど、地域社会の問題解決に向け、社会インフラ整備を推進し、安全で安心な街づくりを目指すためにも引き続き維持管理を求めると共に更なる拡充を求めます。</p> <p>(1)現状について伺います。</p> <p>(2)今後の取り組みについて伺います。</p>	
2	<p>共生社会の実現を推進するための認知症基本法について</p> <p>認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせるよう、公明党が一貫して制定を訴えてきた「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が、超党派の合意による議員立法として6月14日に成立しました。</p> <p>(1)基本法の意義について伺います。</p> <p>(2)基本法の重要なポイントについて伺います。</p> <p>(3)地方公共団体等の基本的施策について伺います。</p> <p>(4)総理官邸で行った認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議に参加された事は稲城市にとっても光栄な事だと思えます。具体的に伺います。</p>	





通告番号	会 派 名	氏 名
3	新政会	池田英司

項 目 番 号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>プラスチックごみについて</p> <p>世界中の海でプラスチックごみや5ミリ以下のマイクロプラスチックが発見されています。海洋に流れ出したプラスチックは分解しにくく、年間480トンから1,270トンのプラスチックが世界の河川等から海洋に流入し、2050年には海洋中のプラスチックが魚の量を上回るとも言われています。</p> <p>また、世界の資源利用量は、既に年間920億トンを超え、なお増加を続けており、このままのペースでは、2050年には1,700億トンに達するとの推計結果もあり、資源の大量消費が引き起こす気候変動と生物多様性の損失が急速に加速しています。</p> <p>地球の気温上昇を産業革命以前に比べてプラス1.5℃でストップさせるためには、私たちの資源利用のあり方を大きく転換させる必要があります。</p> <p>その様な中、国内では、令和4年4月「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、市町村は、容器包装・製品プラスチックのプラスチック廃棄物を一括収集し、処理することが可能となったことを受け、市では、令和5年4月より、新たに「プラスチックごみ」の収集をスタートいたしました。</p> <p>市の地球環境に資する取り組みの一環として、4月よりスタートしたプラスチックごみの収集について伺います。</p>	



項 番 目 号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>街路樹等の管理について</p> <p>稲城市は多摩丘陵の緑や多摩川の清流など、豊かな自然環境に恵まれた閑静な住宅都市として発展してきました。これからも、「緑と水につつまれ、人とふれあうまち」を目指して、まちづくりを進めていただけるものと認識しております。</p> <p>今後も、まちづくりの将来像に沿って、土地区画整理事業等により道路の整備なども進むにしたがって、維持管理すべき街路樹や植栽等も増えていくことになると思います。</p> <p>(1)現状行っている、街路樹や植栽等の剪定や除草等の維持管理状況について伺います。</p> <p>(2)限られた予算の中で街路樹や植栽等の維持管理を行っていただいていると思いますが、土地区画整理事業等による道路の整備も進み、管理すべき街路樹や植栽が増加する中、そうした管理を行なう際の昨今の課題などについて、伺います。</p>	

項 目 番 号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>地球温暖化による気候変動の影響について</p> <p>近年、地球温暖化による気候変動の影響は、私たちの暮らしの様々なところに既に現れております。</p> <p>例えば、気温上昇による農作物への影響や、過去の観測を上回るような短時間の豪雨、いわゆるゲリラ豪雨や、大型台風の到来などの自然災害、熱中症搬送者数の増加といった健康への影響等が挙げられます。</p> <p>特に今夏は、非常に暑く、しかも長く続き、人にとっては厳しい夏だったと思います。</p> <p>そこで今夏の高温が長く続いたことによる影響について確認いたします。</p>	
	<p>(1)市内の農作物への影響について</p> <p>①梨やぶどうなど果樹について</p> <p>②野菜について</p>	
	<p>(2)市立公園内の動植物への影響について</p> <p>①公園内の植物について</p> <p>②病害虫などの発生について</p>	

項 目 番 号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>想定浸水深掲示板について</p> <p>市内を歩いていると、想定浸水深が掲示されている電柱をよく見かけます。多摩川のすぐ近くの電柱だけでなく、多摩川から離れた場所でも見かけることもあります。洪水のおそれがある時に市民が適切な避難ができるように、日頃から意識しておくことで防災意識も高まると思います。</p> <p>市内に設置されている想定浸水深掲示板について伺います。</p> <p>(1)想定浸水深掲示板が設置されている地区について伺います。</p> <p>(2)想定浸水深掲示板の掲示内容について伺います。</p> <p>(3)浸水想定区域内の住民の避難行動について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	無所属	村上洋子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p><b>学校給食納入食材の産地偽装疑いについて</b></p> <p>令和5年10月31日に川崎市教育委員会の報道発表により、学校給食で使用した豚肉が外国産であるのに国内産と偽る産地偽装の疑いが明らかになりました。</p> <p>稲城市では同じ事業者より豚肉の購入を行っており、現在取り扱い停止となっています。このことについて、詳細の確認と今後の対応について確認します。</p>	
	<p>(1) 産地偽装疑いについて、市の情報把握の経緯と現状の対応について伺います。</p> <p>(2) 川崎市教育委員会が行っている産地判別検査の目的と内容について伺います。</p> <p>(3) 稲城市における給食食材納入基準の内容と基準を満たしているかの確認をどのように行っているのか伺います。</p> <p>(4) 今後の対応について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p data-bbox="310 264 1110 318"><b>(仮称)稲城市こども計画の策定について</b></p> <p data-bbox="310 394 1251 551">稲城市は、令和 5 年から令和 6 年の 2 カ年をかけて、新たなこども計画を策定する計画です。その進捗状況、改定のポイント等について確認をします。</p> <p data-bbox="310 676 1047 721">(1) 計画策定の進捗状況について伺います。</p> <p data-bbox="310 788 1251 1057">(2) 国は「こども基本法」に基づく「こども大綱」を策定中であり、東京都は国に先がけて「東京都こども基本条例」に基づく「こども未来アクション」を 2023 年 1 月に公表していますがこれらをどのように参酌していくのか伺います。</p> <p data-bbox="310 1124 1251 1227">(3) 今回の新計画のポイントはどのようなものがあるか伺います。</p> <p data-bbox="310 1294 1251 1505">(4) 国や都の大綱やプランには若者も含まれます。市の新計画には若者が含まれるのか、含まれるとしたら計画の策定には若者意見を反映する委員としてどのような方の参加を考えているのか伺います。</p> <p data-bbox="310 1572 1251 1729">(5) 広く、市民の意見、特に当事者である子ども・若者の意見反映が重要と考えますが、どのように行っていくのか伺います。</p> <p data-bbox="310 1796 1094 1841">(6) 今後の策定スケジュールについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	<p data-bbox="307 264 1031 309"><b>稲城市いじめ防止基本方針について</b></p> <p data-bbox="307 394 1248 663">いじめ防止対策推進法が平成 25 年 9 月に施行され、10 年となります。稲城市いじめ防止基本方針は平成 27 年 4 月より取り組みが始まっていますが、これまでの成果・課題・今後の取り組みについての点検が必要と考え質問します。</p> <p data-bbox="307 788 1125 1057">(1) これまでの取り組みや成果について伺います。 (2) 課題について伺います。 (3) 今後の取り組みについて伺います。</p>	
4.	<p data-bbox="307 1137 1219 1182"><b>養育費の取り決め、確保に関する支援について</b></p> <p data-bbox="351 1254 1248 1523">養育費の取り決めと確保は、子どもの貧困防止のために必要不可欠です。東京都の支援制度、都内各自治体の支援制度を確認するとともに、稲城市における現在の取り組み状況と今後の取り組みについて伺います。</p> <p data-bbox="307 1648 1248 2029">(1) 東京都の養育費支援制度について伺います。 (2) 都内 23 区 26 市の支援制度の現状について伺います。 (3) 稲城市の現状の取り組み状況と今後の取り組みについて伺います。</p>	



通告番号	会 派 名	氏 名
5	新政会	坂田たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>生活困窮家庭への習い事支援事業について</p> <p>厚生労働省が公表した国民生活基礎調査によると、所得水準などに照らして貧困の状態にある18歳未満の割合を示す子供の相対的貧困率は、2021年に11.5%となり、3年前(14.0%)に比べて2.5ポイント改善しましたが、ひとり親世帯で見ると44.5%にのぼり、半数近くが困窮にあえぐ状況が続いているとあります。</p> <p>親の所得により、こどもの夢や希望を実現する機会が制限されてしまうことは、これからの日本の将来を背負って立つ子どもたちの未来にとっても決して望ましいことではありません。</p> <p>(1) 生活困窮世帯の子どもの現状について伺います。</p> <p>① 子どものいる生活保護世帯数について</p> <p>② 児童扶養手当の受給世帯数について</p> <p>(2) これらの生活困窮世帯の子どもたちへの学習塾や部活、習い事等に関する支援策について伺います。</p> <p>(3) 福井県では、企業版ふるさと納税を活用し、「ひとり親家庭習い事支援事業」を行っています。稲城市でもふるさと納税の財源を活用して、生活困窮世帯の子どもたちへの習い事支援事業を開始していただきたいと考えますが、市の見解を伺います。</p>	

項目 番号		摘 要
2	<p data-bbox="310 264 947 300">安全安心でおいしい給食について</p> <p data-bbox="310 327 1224 427">食べるという行為は、人間の三大欲求の一つであり、生きていくうえで欠かせないものです。</p> <p data-bbox="310 454 1240 931">学校給食においては、子供たちの健やかな成長を促すために栄養バランスに配慮したメニューが提供されています。給食の時間は、クラスのみんなと楽しく会話をしながら、懇親を深めたり、生産者への感謝の気持ちを学ぶ大切な学習の場でもあると思います。そのためには、給食時間が楽しく美味しいと思ってもらえることが大切だと思います。</p> <p data-bbox="310 958 1240 1312">(1) 令和4年度に実施された学校給食アンケートの結果によると、前回のアンケートに比べて学校給食を美味しいと感じる児童生徒の割合が増えているとのことですが現在稲城市では、児童生徒が学校給食を美味しく食べられるように、どのような工夫をしているのか伺います。</p> <p data-bbox="310 1339 1240 1559">(2) SDGsの観点から給食の食べ残し等が課題になりますが、稲城市学校給食では、献立による給食残渣の量の違いはどのようになっているのか伺います。</p> <p data-bbox="310 1585 1240 1805">(3) 児童生徒が給食に興味関心を持ったりするような取り組みを行うことにより、食べ残しを減らしていくことが必要と考えますが、現在どのような取り組みを行っているのか伺います。</p> <p data-bbox="310 1832 1240 2007">(4) 食の安全の観点から、給食食材の契約において、給食の安全性をどのように確保しているのか伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>路線バスの「2024年問題」について</p> <p>近年、バス・タクシーといった公共交通分野等において、運転手が不足する「2024年問題」がクローズアップされています。</p> <p>市民生活に欠かせない重要な移動手段である路線バス等の存続と今後の在り方について伺います。</p> <p>(1) 働き方改革関連法に基づく労働基準法における「自動車運転の業務」の改正内容について伺います。</p> <p>(2) 「2024年問題」が運輸サービス（バス事業）に与える影響について伺います。</p> <p>(3) 市内における路線バスの現状について伺います。</p> <p>(4) 公共交通の存続に対する市の認識について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	改革未来の会	岩佐ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	稲城市立学校適正学区等検討委員会等について	
	(1) 教育委員会では市立小中学校の教育環境をよりよいものとするため、稲城市立学校適正学区等検討委員会を設置し議論しておりますが、どのような意見があったのか伺います。	
	(2) 10月27日、福祉文教委員会で報告がありました通学区域の変更の必要性等が示された地域の代表者等で構成される稲城市立学校学区変更検討会について、メンバーの選出方法について伺います。	
2	プレミアム付き稲城なしのすけ商品券デジタル版について	
	(1) 7月15日より、稲城なしのすけ商品券、第一弾の事前申し込みが始まりましたが、応募総数、販売総数を伺います。	



通告番号	会派名	氏名
7	公明党	佐藤しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>子どもたちの健康、生命を守る熱中症対策等について</p> <p>本年、令和5年の夏は、各地で最高気温30℃以上の真夏日、最高気温35℃以上の猛暑日が連日観測され、東京都では、7/6～9/7の64日間真夏日が続き、平成16年の40日を超えて過去最長を記録、猛暑日も22日と過去最多を更新しました。夏のこのような猛暑、酷暑から、子どもたちの健康・生命を守らなければなりません。その為には、熱中症対策の徹底と更なる拡充が求められます。また、ハード面の対策として、給水スポットを設置する自治体があり、有効な対策であると私も認識しているところであります。</p> <p>(1) 令和5年度の稲城市内における熱中症の救急搬送の現状について伺います。</p> <p>(2) 熱中症への対応、対策の現状について</p> <p>① 小学生のスポーツチームへの対応について伺います。</p> <p>② 中学校の部活動における対策について伺います。</p> <p>(3) 小学生のスポーツチーム、また、中学校の部活動における、熱中症への対応、対策の今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(4) 小学生のスポーツチームや中学校の部活動で使用する機会の多い小学校、中学校への給水スポット設置について、市の考え方を伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>交通安全対策の諸課題について</p> <p>(1) 若葉台一丁目交差点は通学路でもあることから、生徒児童が安心安全に横断することができる更なる安全対策として、歩車分離式信号機の設置を要望いたします。また、学園通りと坂浜平尾線が交わる交差点に歩車分離式信号機の設置を望む声も多く伺います。この2つの交差点における歩車分離式信号機の設置について市の見解を伺います。</p> <p>(2) 矢野口地域の5つ交差点、「矢野口駅入口」「矢野口」「榎戸」「吉方」「吉方公園南」と、東長沼地域の交差点「稲城大橋入口」についてであります。これらの交差点内の信号機の上部に設置されている地点名標識の文字が、一部消えていたり薄くなるなどして、標識としての役割が十分果たせていない状況であり、市民の方々からもご指摘がございます。速やかな修繕を要望いたしますが、これらの地点名標識の修繕(付け替え)について伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>人生 100 年時代における、リカレント教育の更なる推進について</p> <p>人生 100 年時代という長い人生において充実した生活を送るためには、心身の健康を維持する為の運動等に取り組むことと共に、自身の知識やスキルを新たに習得したり、更新したりすることもまた重要な取り組みであると考えます。その為の一つの重要な手段が、「社会人の学び直し」と称されるリカレント教育であります。文部科学省の中央教育審議会生涯学習分科会における議論において、リカレント教育について次のように整理されています。「現在の職務を遂行する上で求められる能力・スキルを追加的に身に付けること（アップスキリング）や、現在の職務の延長線上では身に付けることが困難な時代のニーズに即した能力を身に付けること（リススキリング）の双方を含むとともに、職業とは直接的には結びつかない技術や教養等に関する学び直しも含む広義の意味で使用する。」公明党はこれまでも、新たな職業スキルや知識を習得して雇用ニーズの高い職種や成長分野への就業を支援するため、リカレント教育の充実、推進を訴えてきており、今後さらに、その取り組みの強化を目指して参ります。</p> <p>(1)リカレント教育について、市の認識を伺います。</p> <p>(2)リカレント教育への取り組みについて、市の現状を伺います。</p> <p>(3)リカレント教育の推進に向け、市の今後の取り組みについて伺います。</p>	



通告番号	会 派 名	氏 名
8	新 政 会	角 田 政 信

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>東京ジャイアンツタウン構想について</p> <p>令和7年3月にいよいよ新 GIANTS 球場がオープンします。今後若者を中心に他地域から多数の観光客が見込まれます。そこで、同構想について期待される効果などについて検証すべきと考えます。</p> <p>(1) 東京ジャイアンツタウン構想における効果について</p> <p>① 改めて、東京ジャイアンツタウン構想により期待される効果について市の意見を伺います。</p> <p>② 効果を実現するための、今までの取り組みについて伺います。</p> <p>③ 今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 東京ジャイアンツタウン構想において予想される取り組みについて東京ジャイアンツタウン構想の実現によって防犯や環境、交通渋滞などが予想されますが、市の取り組みを伺います。</p> <p>(3) 東京ジャイアンツタウン構想により新たに他地域から訪れる観光客に対して</p> <p>① 観光客に対し、飲食店や観光スポットの周知について、市の考えを伺います。</p> <p>② 観光客に対し、「自転車のまち稲城」らしく、シェアサイクルの利用をしてもらうための市の考えを伺います。</p> <p>③ 周辺の歩道や自転車通行空間の整備について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
9	稲志会	川村あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	健康管理アプリの導入について	
	<p>高齢化社会が進む現在、稲城市だけではなく各自治体の課題は住民の健康維持や健康寿命の延伸ではないでしょうか。特に、これまで健康にあまり気を遣わない生活をしてきた人や何から始めたらいいのかわからない人を、どのようにして健康的な生活に導くかという課題があると思います。そこで、昨今、様々な市区町村で導入が増えている健康アプリによる健康ポイントの導入が良いきっかけになると思います。例えば、ウォーキングでの歩数や健康診断受診など、ポイントが付く活動を示すことで、健康的な生活をするためには何をすべきかを具体的に理解してもらうことができます。また住民側にも、ポイントを集めることで、景品や特典などを受けられるという利点があります。更にメッセージ機能を付けることで、年齢や性別などの条件に合わせた検診などの案内を送付することができます。また、イベントや健康増進情報などの自治体情報の発信や市民の平均歩数等の統計もとることができ、市民と自治体の良いつながりとなると考え質問させていただきます。</p>	
	<p>(1) 市民の健康状況の把握方法について</p> <p>①健康事業への考え方について伺います。</p> <p>②健康事業への取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(2) 健康管理アプリの導入について</p> <p>①市の見解を伺います。</p> <p>②今後について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	稲城市公民連携デスクの役割について	
	<p>稲城市では、活発な地域コミュニティが醸成されており、行政側も持続可能なまちづくりを目指し、住民との協働も数多く展開してきていると思います。一方で、昨今の社会的課題は多様化・複雑化するなか、従来の行政手法だけでは、なかなか課題解決に結びつかない場面も増えてきていると感じます。</p> <p>そこで、本市では令和5年10月1日よりスタートした公民連携デスクの設置により、個々の行政課題の解決はもちろん、公民連携の推進を通じ、職員の方々にも幅広いテーマで当市の課題解決に取り組むスキームや新しい価値観や発想をもたらすきっかけになるのではと思います質問させていただきます。</p>	
	<p>(1) 設置について</p> <p>①内容について伺います。</p> <p>②役割について伺います。</p>	
	<p>(2) 取り組みについて</p> <p>①内容について伺います。</p> <p>②役割について伺います。</p>	
	<p>(3) 事例について</p> <p>①これまでの成果について</p> <p>②今後について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	だれもが楽しめる公園づくりについて (インクルーシブパーク)	
	<p>コロナ禍をきっかけに、市内でも多くの公園整備が行われ現在進行形で進捗している箇所もあります。</p> <p>これまでも、赤ちゃんから高齢者まで、そして健常者も障がい者も分け隔てのないインクルーシブパークと呼ばれる公園づくりについて質問させていただきました。</p> <p>来年度、国土交通省は子どもや子育て世帯の目線に立った公園整備を進めるため、各自治体への支援制度を創設、支援する方針であることから、せっかく市内の整備を進めるのであれば、国の支援を活用し、実際に公園を利用されている方々の声を反映させ、より使いやすく楽しみやすい、そして多くの方に利用される公園が望ましいと思い質問させていただきます。</p>	
	<p>(1) インクルーシブに配慮した公園整備について</p> <p>①市の考えを伺います。</p> <p>②課題について伺います。</p> <p>③市で行ってきた内容について伺います。</p>	
	<p>(2) 吉方公園について</p> <p>①公園整備のコンセプトについて伺います。</p> <p>②進捗状況について伺います。</p> <p>③課題について伺います。</p>	
	<p>(3) 今後の公園整備について</p> <p>①予定されている内容について伺います。</p> <p>②課題について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
10	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p><b>統一協会の反社会的活動から市民の暮らしを守る取り組みについて</b></p> <p>統一協会の多摩市の施設建設計画に市民から不安の声があがっている。</p> <p>反対運動が広がり、解散命令が請求される中、統一協会は計画の「当面の見合わせ」を表明した。</p> <p>こうした状況のもと、統一協会の反社会的活動から市民を守る取り組みを求めて質問する。</p> <p>(1) 地方自治体として統一協会の反社会的活動から市民の暮らしを守る事が求められるが市の基本姿勢は。</p> <p>(2) 東京都市長会は7月に東京都に「宗教法人世界平和統一家庭連合」に関する緊急要望を提出した。要望書は多摩市の計画について、多摩地域での活動拠点の構築の動きで、地元市だけの問題ではない。今後、多摩地域の他の自治体でも同様の事案が生じることも予想されるなどを指摘。建築行為の手続きで厳正に対応することや、国に対応するよう働きかけることを求めている。この要望後の市長会や東京都、国の取り組み状況は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 文部科学省は10月に統一協会の解散命令を請求した。</p> <p>国土館大学は7月に統一協会に対し、多摩市に購入した土地を使用しての活動計画を中止し、撤回するよう申入れを行っている。</p> <p>多摩市は10月に統一協会に対し、施設建設計画を白紙に戻すよう求めている。</p> <p>稲城市としても、市民の暮らしを守る姿勢にたつて、統一協会の多摩市の施設建設計画の中止・撤回を求めるべきと考えるが認識は。</p> <p>(4) 解散命令が請求される状況のもと、政治家、行政は統一協会との関係を断つことが求められると考えるが市の認識は。</p> <p><b>2 路線バス・iバスの拡充について</b></p> <p>(1) 各地でバスの運転手不足から減便や路線廃止の動きがおきている。市内路線バス・iバスへの影響は。</p> <p>(2) 南山地域への路線バス・iバスの延伸について。</p> <p>(3) 若葉台駅～南多摩駅への路線バスの増便について。</p> <p>(4) iバスを「増便してほしい」という声が続ぎ寄せられている。30分に1本のiバスをめざして増便を検討すべきと考えるが認識は。</p> <p>(5) iバスの運行補助金を東京都に求めることについて。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(6) 路線バス・iバスのバス停ベンチや屋根の設置についての基本的な考え方は。</p> <p><b>少人数学級の拡充について</b></p> <p>(1) 少人数学級の実施状況と今後の拡充について。</p> <p>(2) 中学校全学年までの早期の少人数学級実施を国・都に求めるべきと考えるが認識は。</p>	
4	<p><b>大学の奨学金返還支援について</b></p> <p>大学などを卒業後市内に住む人を対象に、奨学金の返済を支援する八王子市はじめ、令和4年6月時点で、36都府県、615市区町村が奨学金返還支援に取り組んでいる。稲城市でも、学生や若者の定住促進に向けた若者支援として、奨学金返還の支援制度を実施すべきと考えるが認識は。</p>	
5	<p><b>小中学校特別教室（図工室など）へのエアコン設置について</b></p> <p>(1) 特別教室へのエアコン設置の設計の取り組み状況は。</p> <p>(2) 特別教室へのエアコンの早期設置が求められるが認識は。</p>	

通告番号	会派名	氏名
11	稲志会	中島 健介

項目 番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市の用水路の管理について</p> <p>稲城市都市計画マスタープランでは、まちづくりの将来像として「緑と水につつまれ 人とふれあうまち 稲城」を掲げられています。</p> <p>多摩川・三沢川・大丸用水の豊富な水に、市内の多くの場所で、用水路の形で触れることができる環境は、他市に対しても誇れる稲城市の魅力の一つであると考えています。</p> <p>一方で、市政報告等で東長沼や押立地域を中心に回る中で、多くの方々から用水路の整備・管理に関するお問い合わせが寄せられます。</p> <p>用水路周辺の草刈りや除草の相談、たばこ等のポイ捨てに困っているといった声、落下による事故を不安視する声や昨今の大型台風の影響により用水路が溢れてしまうのではないかと不安を訴える声など様々なご意見を伺ってまいりました。</p> <p>そこで、今回の一般質問では、市民の声を市政へ届けるとともに、「自然と調和した、美しく、より安全・安心な環境」を市と住民と連携して整備できるように、稲城市の用水路の現状、整備・管理に関する考え方などを伺います。</p>	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(1) 市の用水路の現状について	
	市では多くの用水路を抱えていると思いますが、本数やその確認方法について伺います。	
	(2) 整備が必要と思われる市の用水路について	
	市民から用水路の整備を求める声が多く寄せられます。	
	市で把握している整備が必要と思われる用水路について、整備計画のようなものがあるのかも含めて伺います。	
	(3) 市の用水路の管理方法について	
	市民から草刈りや浚渫など様々な理由で用水路等の管理に関してお問い合わせを受けます。	
	押立地域では特に、住民の方が中心となって、草刈りや浚渫などをしてくださっていますが、住民の方々との連携も含めて、市の用水路の管理方法について伺います。	
	(4) 暗渠化の判断とその方法について	
	開渠されている用水路の近隣住民からは、たばこのポイ捨てなどの理由から暗渠化を求める声も伺っています。	
	また、住宅が増え、車の行き来が多くなった地域や通学路になっている地域では、落下防止などの安全上の理由から、同様に暗渠化を求める声があります。	
	そこで、市の用水路の暗渠化の判断についてとその方法について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>市施行土地区画整理事業と今後の区画整理事業について</p> <p>市では平成初期から榎戸地区・矢野口駅周辺・南多摩駅周辺・稲城長沼駅周辺の土地区画整理事業をそれぞれ開始し、今日まで事業が行われていますが、区画整理事業区域内に住まわれる方から、事業の進捗や今後についての問い合わせが多く寄せられます。</p> <p>さらに、第五次稲城市長期総合計画の矢野口駅周辺、稲城長沼駅周辺の区画整理事業では、弁天通り商店会、ペアリード商店街が各々区域内にあります。店舗を構える方からも今後の経営について不安視する声も伺っています。</p> <p>南多摩駅周辺の事業区域内は、準工業地域に指定されている地域が整備される計画ですが、稲城市の経済活動を考える上で、この地域の利用をしっかりと検討していく必要もあるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、改めて、こうした事業の進捗や今後の整備計画や区域内の住民の方にしっかりと説明がなされているのか、日々のコミュニケーションはしっかりと取られているのかについて伺います。</p> <p>また、坂浜地区では平成24年度から始まった小田良地区の区画整理事業では、かつての小田良地区の姿が大きく変わり、交通等の利便性も大きく向上しました。</p> <p>一方で、未だに多3・4・36号線は鶴川街道と接していないなど、坂浜地域のまちづくりも道半ばであると考えています。</p> <p>今後、坂浜西・於部屋地区についても発起人会を立ち上げ、組合施行の区画整理事業を行う予定であると伝え聞いております。</p> <p>そこで、坂浜西・於部屋土地区画整理事業の今後についても伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(1) 稲城榎戸土地区画整理事業について	
	榎戸地区については、第五次稲城市長期総合計画期間内の令和12年度までに整備完了を目指し、取り組んでいるとのことですが、現在の進捗状況及び今後の課題について伺います。	
	(2) 稲城矢野口駅周辺土地区画整理事業について	
	矢野口駅周辺地区については、第五次稲城市長期総合計画期間内の令和12年度までに、主に地区北東部及び駅北側を整備するとのことですが、現在の進捗状況及び今後の課題について伺います。	
	(3) 稲城南多摩駅周辺土地区画整理事業について	
	南多摩駅周辺地区については、第五次稲城市長期総合計画期間内の令和12年度までに、整備完了を目指し、取り組んでいるとのことですが、現在の進捗状況及び今後の課題について伺います。	
	(4) 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業について	
	①稲城長沼駅周辺地区については、第五次稲城市長期総合計画期間内の令和12年度までに、多3・4・14号稲城長沼駅前通り線及び駅前を整備するとのことですが、現在の進捗状況及び今後の課題について伺います。	
	②地区内には、ペアリーロード商店街がありますが、駅前整備における、市の方針について伺います。	



通告番号	会 派 名	氏 名
1 2	無所属	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>深刻化する東京の買物弱者等の問題について</p> <p>経済産業省は買物弱者を平成22年に全国で約600万人と推計しましたが、最近の調査によれば約700万人としています。また、「令和2年版国土交通白書」には、公共交通空白地域の居住人口が約767万人と記されています。</p> <p>経済産業省は、「買物弱者応援マニュアル」を公開し、民間事業者、地方自治体、および住民が相互連携できるよう普及啓発にも取り組んでいます。応援方法はいくつか提示していますが「事業者、行政、住民が協力し合うことが重要である」としています。買物弱者等の問題を早急に解決すべきという立場から質問します。</p> <p>(1) 平尾団地のスーパーが撤退してから1年経ちますが、代わりになるスーパー等誘致の進捗について伺います。</p> <p>① 移動スーパーが稼働していますが、現状を伺います。</p> <p>② スーパー店舗の誘致を住民から強く求められています。市としての対応策について伺います。</p> <p>(2) 稲城市全体でも買物弱者等の問題があると考えますが現状と、今後の対策について伺います。</p> <p>① 現在までの行政対応や対策について伺います。</p> <p>② 農林水産政策研究所平成30年発表の食料品アクセス困難人口の推計結果で、稲城市は65歳以上困難人口割合27%で東京30市町村中ワースト5位タイ、75歳以上では33%とワースト2位タイとなっていますが、市としてはどのように分析をしているか伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、地域公共交通計画の策定は努力義務となりました。国交省は令和6年までに1200の件数を目指しているが、稲城市でも策定すべきと考えます。</p> <p>①地域公共交通計画を策定しているのは令和3年11月末現在で全国では670団体ですが、東京都内で策定をしている市を伺います。</p> <p>②稲城市においても高齢者で免許を返納している方がいらっしゃいます。稲城市全体をとらえた地域公共交通計画を策定する必要があると思いますが、認識を伺います。</p>	
2	<p>南山西部地区の緑地の保全について</p>	
	<p>令和5年10月29日に行政が地権者や里山で活動をしている個人・団体に声をかけ、はじめて「南山西部地区の緑地保全懇談会」を行いました。大きな一歩だと評価します。</p> <p>この動きを止めることなく、しっかりと様々な立場の方の意見を集約し保全に取り組む環境をあらゆる対策を講じながら進めていくべきという立場から質問をします。</p>	
	<p>(1) 今回の集会の目的について伺います。</p>	
	<p>(2) 参加者（地権者や活動団体などの詳細）と人数を伺います。</p>	
	<p>(3) どのような意見が出たのか伺います。</p>	
	<p>(4) 当該区域には自然環境保護地域に指定されている土地があると聞きますが、その内容やメリットについて伺います。</p>	
	<p>(5) 今後の緑地保全の進め方について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
13	公明党	湯谷 ひろし

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>稲城市における物価高対策について</p> <p>物価高騰により市民の生活は、非常に厳しい状況が続いております。そのような中、政府は、総合経済対策の裏付けとなる令和5年度補正予算案を閣議決定しました。そこには公明党の主張が随所に反映されております。特に、自治体独自の物価高対策を進める財源となる「重点支援地方交付金」の増額は、公明党が強く主張して参りました。</p> <p>更に、11月17日、稲城市議会公明党は、高橋市長に「物価高騰対策と経済再生に向けた提言」を提出致しました。</p> <p>(1) 令和5年3月17日、稲城市議会公明党が高橋市長に「エネルギー価格・物価の高騰対策に関する緊急要望」を提出致しましたが、その後の市の物価高騰対策の効果について伺います。</p> <p>(2) 稲城市における今後の物価高騰に関する経済対策について伺います。</p>	
2	<p>高齢者、障がい者及び成年被後見人にとって、さらに利用しやすい投票環境を目指して</p> <p>4月に行われた令和5年稲城市長選挙・市議会議員選挙では、平均投票率がともに49.75%と、都内平均と比べ高い投票率でした。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>また、令和5年10月には、第22回「のまちいなぎ市民まつり」の稲城市明るい選挙推進委員会のブースにおいて、2日間にわたり、子ども体験模擬投票が行われ、1000人を超える子どもたちが投票しました。このように選挙の啓発活動も活発に行われております。さらなる投票環境の向上のためには、投票方法や投票に関する支援サービスなどについて、さらに「わかりやすく」そして「投票しやすく」することが重要であると考えます。</p>	
	<p>高齢者、障がい者及び成年被後見人にとってさらに投票しやすい環境にするため質問を致します。</p>	
	<p>(1) 市内投票所・期日前投票所における高齢者、障がい者及び成年被後見人への投票支援について伺います。</p> <p>(2) 代理投票制度について詳細を伺います。</p> <p>(3) 投票所・期日前投票所における障がい者等との円滑なコミュニケーションのために「投票支援カード」を導入し、市ホームページで周知すべきであると考えますが、市の考えを伺います。</p>	
3	<p>空家等対策の推進に関する特別措置法改正後の市内の空き家対策について</p> <p>令和5年6月14日、「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が公布されました。公明党は、この法改正を強く推進して参りました。特に国会質疑の中で、市区町村が空き家の活用促進区域を円滑に設定できるよう国の支援を求めてきた経緯がございます。</p>	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>国内の空き家数は、この二十年で約二倍に増加しており、          周囲に悪影響を及ぼす前の段階から空き家の有効活用や適切な管理を確保することが重要だと考えております。</p> <p>この法律が施行されることにより、空き家の状況が悪化する前に「管理不全空家」として、早めの指導が可能になります。</p> <p>稲城市はこの改正法を基に、今後どのように空き家対策を行っていくかという観点から質問いたします。</p>	
	<p>(1) 空家等対策の推進に関する特別措置法の改正内容について</p> <p>①改正法により設けられた「空家等活用促進区域」について伺います。</p> <p>②改正法により設けられた「管理不全空家」について伺います。</p>	
	<p>(2) 市内の空き家の現状について</p> <p>①「空き家」の定義及び市内の「空き家」の数について伺います。</p> <p>②「特定空家」の定義及び市内の「特定空家」の数を伺います。</p>	
	<p>(3) 空家等対策の推進に関する特別措置法改正を受けた今後の市の対応について</p> <p>①「空家等活用促進区域」の設定についての稲城市の考えを伺います。</p> <p>②市内における「管理不全空家」の把握方法について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
14	無所属	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>開業・起業・創業支援と中小企業・小規模事業者の事業承継支援の推進について</p> <p>公民連携を進めている稲城市において、民間活力を高め、雇用を生み出し、産業の新陳代謝と持続発展の後押しを進めていくことが自治体として重要であると考えます。市税等の財政を支えてくださり、地域経済・社会を担う重要な存在である中小企業・小規模事業者の開業・起業・創業支援と事業承継支援をさらに推進することについて伺います。</p> <p>(1)開業・起業・創業支援のさらなる推進について</p> <p>平成 30 年第 3 回定例会で質問いたしました「創業支援」。その後の施策の進捗状況、開業・起業・創業支援のさらなる推進について伺います。</p> <p>①「稲城市創業支援等事業計画」の進捗状況について</p> <p>②「稲城市創業セミナー」のこれまでの開催状況と実績・効果、令和 5 年度の取り組みについて</p> <p>③「稲城市創業元気塾」のこれまでの開催状況と実績・効果、令和 5 年度の取り組みについて</p> <p>④「稲城市駅周辺店舗出店補助事業」と「市内 6 駅周辺空き店舗マッチング支援ネット」の進捗状況について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	⑤「開業資金融資あっせん」の過去 5 年間の実績について	
	⑥開業・起業・創業支援のさらなる推進について	
	<p>(2)中小企業・小規模事業者の事業承継支援の推進について</p> <p>経営者の高齢化や後継者の不在、コロナ禍からの回復の遅れ等により、中小企業・小規模事業者の休廃業が増加し、事業承継は日本経済の喫緊の課題となっています。</p> <p>国や東京都においても支援施策が行われておりますが、地域に根差した基礎自治体として、中小企業・小規模事業者の事業承継支援について施策を推進し、市内経済や商工業の持続発展に一層取り組んでいただきたいと思います。市の見解を伺います。</p>	
	①稲城市の中小企業・小規模事業者の事業承継に関する施策の現状について	
	<p>②稲城市での「事業承継個別相談会」について</p> <p>東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センターの専門相談員による出張個別相談について、稲城市での定期的な開催について伺います。</p>	
	<p>③稲城市での「事業承継セミナー」について</p> <p>円滑な事業承継を行うためには、事業承継の重要性を認識いただき、早期の準備が重要とされています。市内中小企業・個人事業者で事業承継に取り組む方に役立つ情報をお届けする「事業承継セミナー」の開催について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>④稲城市における「事業承継推進ネットワーク」について</p> <p>稲城市や商工会、市内外の事業承継支援の専門機関や金融機関等の関係団体が連携し、事業承継に関する事業者のニーズに応じた支援や相談を担う関係団体のネットワーク化について伺います。</p>	
	<p>⑤事業承継に関する補助金や融資あっせん制度について</p> <p>事業を“受け渡す”側が承継に要する経費の一部を補助制度や、事業承継に必要な運転資金・設備資金等の融資あっせんなど、事業承継に関する補助金や融資あっせん制度について伺います。</p>	
	<p>⑥中小企業・小規模事業者の事業承継支援の強化について</p> <p>市内中小企業・小規模事業者が持つ優れた技術やサービスを次世代に“つなぐ”チャレンジを支援し、民間活力を高め、雇用を生み出し、地域経済の新陳代謝と持続発展の後押しとなるよう中小企業・小規模事業者の事業承継支援の強化について伺います。</p>	
2	<p>罹災証明のオンライン・Web申請によるデジタル化について</p> <p>火災や災害後の被災者の生活再建の迅速化の一助として、罹災証明書のオンライン申請や Web 申請によるデジタル化について、市の見解を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>保育所入所のオンライン・Web 申請によるデジタル化について</p> <p>学童クラブの令和 6 年度入所の申請から Web 申請となりました。保育所入所の申請についてもオンライン申請・Web 申請の導入について市の見解を伺います。</p>	
4	<p>図書館利用カードのアプリ化等による Web 表示について</p> <p>現行の利用カードと併用で、利用者番号やバーコードをスマートフォン等のデジタル端末で表示することにより市民の利便性向上を図っていただきたいと考えます。図書の貸出手続きに関して、図書館利用カード等のアプリ化またはデジタル端末での Web 表示を検討いただき、市民の読書環境の向上を図ることについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>小中学校校舎の断熱対策について</p> <p>今年の夏の異常な高温により、稲城市のみならず多くの学校で授業が困難になるほどの酷暑を経験しました。断熱対策による消費エネルギーの低減や子どもたちの学習環境の改善を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 市内の学校の教職員から「建物の最上階の教室はエアコンをつけても暑さが緩和されない」「教室が暑すぎるので、下のフロアの教室に移動した」等の声が寄せられているが、このことについて市の認識を聞きます。</p> <p>(2) 学校の環境改善や省エネの推進として、建物の断熱対策が重要だと考えるが市の認識を聞きます。</p>	
2	<p>高齢化による難聴者の聞こえの支援について</p> <p>高齢化による難聴者の聞こえの支援について、これまでも質問してきました。引き続き、補聴器購入費の補助を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 加齢性難聴となった高齢者が健康な暮らしを送り、生活の質を維持向上させていくためには、早期な介入と適切な治療が必要であると考えるが市の認識を聞きます。</p> <p>(2) 加齢性難聴となった高齢者にとって、補聴器の使用は大きな効果があると思うが市の認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="315 248 1244 293">私立保育園の質の確保のための市の役割について</p> <p data-bbox="315 331 1244 539">市内の保育園では医療的ケア児の受け入れなど、新たな役割の実施が求められています。保育士の確保も含めて、質を確保しながら新しい役割に挑戦していくために、市として必要な支援の実施を求める立場から質問します。</p> <p data-bbox="216 622 871 667">(1) 医療的ケア児の受け入れについて</p> <p data-bbox="315 705 1244 1041">           ① 市の医療的ケア児の受け入れの状況について聞きます。            ② 稲城市としての「保育所等における医療的ケア児の受入ガイドライン」の作成状況、見直しなどの今後の対応について聞きます。            ③ 医療的ケア児受け入れにあたって、市内の公立保育園が指導的な役割を果たす必要があると考えるが市の認識を聞きます。         </p> <p data-bbox="216 1124 686 1169">(2) 保育士の確保について</p> <p data-bbox="315 1169 1244 1458">           ① 市内の私立保育園の人材確保の現状について市の認識を聞きます。            ② 保育士確保のために、市として実施している対策について聞きます。            ③ 保育士の待遇改善や保育現場の労働環境の改善のために、公定価格の増額や保育士基準の増員などが必要であると考えが市の認識を聞きます。         </p>	







項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	地区交番の設置に関して	
	<p>長年に渡り稲城市から警視庁に要望などが行われておりますが、近年更に稲城市の人口の増加や、南山地域の開発が進んだ事により、交番の設置を希望する声は以前にも増して高まっております。人口規模的に、正規の警察署の設置は難しいと考えますが、多摩中央警察署の分庁舎として地区交番の誘致が現実的であると考えます。通常の交番に比べ規模が大きく、警察署と同様に運転免許の更新手続きや車庫証明などの各種申請・届出事務が可能な地区交番が市内に誘致できれば市民の安心・安全、そして利便性も向上します。</p>	
	(1) 交番等の設置状況について	
	交番および駐在所の設置件数について伺います。	
	(2) 交番等の設置に関わるプロセスについて	
	①新規に交番などが設置されるにあたり、どのようなプロセスを経て設置されるのか伺います。	
	②多摩地域における新規交番等の設置状況に関して伺います。	
	(3) 警視庁への要望について。	
	①要望の内容を伺います。	
	②直近を含め過去の要望状況を伺います。	
	(4) 用地確保の状況について。	
	交番等を誘致する(要望をだす)にあたり、必要な面積や土地の条件について伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革未来の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	中学校の部活動について	
	<p>少子化の影響で中学校の部活動の継続が難しい学校が増えてきている中、教員の働き方改革の一つには部活動の負担軽減も考えて行かなければいけない課題であります。東京都教育委員会の令和3年度「部活動実施状況調査」によりますと、都内の中学校には運動部が約5000部、文化部が約3000部あり、そのうち休日も活動しているのは、運動部が約70%、文化部が約20%となっています。部活動は生徒の自主的、自発的な参加により行われるものではありませんが、スポーツや文化に親しむ良き機会となり、意欲の向上や責任感、連帯感が養われるのだと思います。運動部では、体力の向上や健康維持、文化部では知性と教養が養われる学びの場になっていると思います。中学校において、重要な役割を果たしている部活動について伺います。</p>	
	(1) 中学校の部活動の種類と数、外部指導員の活動の現状について伺います。	
	(2) 部活動を行う上での課題について伺います。	
	(3) 今後の部活動の取り組みについて伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	緑の保全と創出に重要な役割を果たす小田良谷戸公園と清水谷戸緑地について	
	<p>稲城市は、多摩丘陵の緑や市内を流れる清流など豊かな自然環境に恵まれ、市民生活に安らぎと潤いを与えてくれており、その環境に惹かれて転居されてきている方も多く見られてきております。しかし市内では、民間事業者による森林を伐採しての開発など、丘陵地の緑が減少してきている地域も見られます。人口が増加傾向にあり、都心に近く、利便性の良い稲城市ですが、この貴重な自然環境を将来へと継承していくために、緑の保全と創出を推進していかなければならないと考えております。稲城市では、「水と緑の継承と調和」を理念とした稲城市緑の基本計画が策定されており、令和5年度の3月に改訂され、初年度としての取り組みが実施されてきているかと思っております。私の住む坂浜地区は、みどり率が最も高く68.2%となっており、森林豊かで多くのみどり率を占める清水谷戸緑地や自然環境を活かした「稲城ふれあいの森」、「大塚牧場」などがあり、一定の緑地が保全されてきております。今後も緑豊かな住みよい街としての街づくりを願うことから、緑の保全と創出について伺います。</p>	
	(1) 緑の基本計画第2章、水と緑の現状と課題があげられていますが、具体的な水と緑のまちづくりの課題について伺います。	
	(2) 小田良谷戸公園の現状について伺います。	
	(3) 清水谷戸緑地の緑の保全として、都立公園が予定されていますが、早期実現に向けた稲城市としての取り組みについて伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	高齢者を支えるサービスについて	
	<p>高齢者にこれからの望むことを聞きますと健康で長生きしたいという回答がよく聞かれます。まだまだ社会で活躍したいとか、新たなライフスタイルを築き自立した生活を継続したいなど前向きな希望もあれば、老後のお金や今後の身体のことなど、不安を解消したいといった望みもあり、置かれている状況によって様々な違いがあります。高齢者のサービスによっては、望みや困っていることを支えているケースも多くあります。市では、介護保険サービスに加え、介護予防事業や生活支援サービス、地域での取り組みなど、サービスを受ける高齢者の状態や希望に応じた取り組みをされているかと思えます。そこで、必要なサービスを高齢者の誰もが受けられるようにするための取り組みについて伺います。</p>	
	(1) 高齢者が受けられるサービスの仕組みについて伺います。	
	(2) 高齢者が受けられるサービスの問い合わせや相談窓口について伺います。	
	(3) 高齢者の誰もが受けられるサービスの種類について伺います。	
	(4) 高齢者が受けられるサービスを多くの方に知っていただく取り組みについて伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
18	改革未来の会	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p><b>誰一人取り残されない不登校支援について</b></p> <p>文部科学省の調査報告によると、令和4年度において、小中学校を30日以上欠席した不登校の状態にある子どもは、29万9048人で過去最多となりました。</p> <p>総務省では、令和5年7月に、「不登校・ひきこもりのこども支援に関する政策評価」を公表し、文部科学省に対し、支援の不足等について指摘をしております。指摘事項を改善していくとともに、不登校支援の取組みを進めていく中で、子どもたちが学校や家庭以外に安心して過ごせる居場所づくりも重要であると考えます。そこで、誰一人取り残されない不登校支援について伺います。</p> <p>(1) 総務省が令和5年7月21日に公表した「不登校・ひきこもりのこども支援に関する政策評価」について</p> <p>①不登校に関する本調査の内容と結果の概要について伺う。</p> <p>②不登校児童生徒の支援について、政策評価を踏まえた文部科学省の対応について伺う。</p> <p>(2) 現状の取組みについて</p> <p>①本市の不登校児童生徒が平日の日中に最も多くの時間を過ごしている場所の把握状況について伺う。</p> <p>②教育機会確保法に基づく基本指針等では、「学校への登校という結果のみを目標にしない」との国の方針や、学校外で学べる施設や相談窓口等に関する情報を学校が提供する方針も明確化されているが、保護者や児童生徒にはどのように周知されているのか伺う。</p> <p>③今年度より本市でスタートした校内別室指導の取組み状況について伺う。</p> <p>(3) 今後の取組みについて</p> <p>①教育支援センターや相談機関、フリースクール等の民間施設等に関する情報をわかりやすく、保護者に提供するため、ハンドブックの作成が必要だと考えるが認識を伺う。</p> <p>②児童生徒のSOSを早期に把握するため、タブレット端末のグループフォーム機能の活用を検討してはどうかと考えるが、認識を伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>(4)家でも学校でもない第3の居場所(サードプレイス)について</p> <p>①子どもたちの居場所づくりや学習を支援している市民団体や民間団体等との連携や情報提供について、どのように取組まれているのか伺う。</p> <p>②不登校の児童生徒の日中の居場所として、児童館において、どのように受入れをおこなっているのか伺う。</p> <p>③東京都がおこなっている「子供の居場所創設事業補助金」の活用について伺う。</p> <p>(5)改正児童福祉法における児童育成支援拠点事業について</p> <p>①本事業の概要について伺う。</p> <p>②本事業の実施に向けた検討状況について伺う。</p> <p>(6)不登校の児童生徒やその家族(家庭)への支援にあたっては、教育・福祉が連携した支援が求められるが、居場所づくり・学習支援等に関する連携の取組みについて伺う。</p> <p><b>2 性犯罪・性暴力から子どもたちを守る取組みについて</b></p> <p>令和4年4月1日に、子どもたちを教職員などからの性暴力から守る「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」(わいせつ教員対策新法)が施行されました。しかし、児童生徒へのわいせつ事案に関する報道は後を絶たず、性犯罪・性暴力から子どもたちを守る取組みが急務であると考えます。そこで、本市の取組みについて伺います。</p> <p>(1)わいせつ教員対策新法施行後の性犯罪・性暴力から子どもたちを守る取組みについて</p> <p>① 学校・教職員への取組みについて伺う。</p> <p>② 児童生徒・保護者への取組みについて伺う。</p> <p>③ 市教育委員会の取組みについて伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(2)教職員等による児童生徒性暴力等が発生した場合の初動 対応について</p> <p>①被害の早期発見や相談体制について伺う。 ②被害児童生徒及び保護者への支援について伺う。 ③性暴力被害対応チームなどの体制整備について伺う。</p> <p><b>3 中学校の調査書点(内申点)について</b></p> <p>平成13年に、文部科学省の指導要録の改善通知により、観点別学習状況の 評価に基づく絶対評価が導入され、各観点の達成値により評定がつけられる ようになりました。しかし、市内の学校でも「あその学校は内申がとりにくい」 「先生によって、いい評定がとりにくい」といった、話を耳にします。そこで、東京 都が公表している公立中学校第3学年の評定状況の調査を踏まえ、中学校の 調査書点(内申点)について伺います。</p> <p>(1) 東京都において毎年実施している「都内公立中学校第 3 学年及び義務教 育学校第 9 学年の評定状況の調査」について</p> <p>①本調査の概要と結果を本市ではどのように活用されているのか伺う。 ②本調査結果を元にした本市中学校の学力状況の分析について伺う。</p> <p>(2) 評価の客観性・信頼性を確保するとともに、生徒の学習到達度を的確に評 価していくために、どのように取組まれているのか伺う。</p>	



通告番号	会派名	氏名
19	稲志会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p><b>防災に関する稲城市の取り組みについて</b></p> <p>今秋も11月5日に向陽台小学校グラウンドにおいて令和5年度稲城市防災訓練が挙行され、市内に震度6強の地震が発生したという前提で関係各種団体の総力を結集することが出来た。その講評でもあるが、やはり公助は行き届く範囲にも限りがあり、時間的な制約が多いこともまた改めて実感させられたが、</p> <p>(1) 自主防災組織の訓練並びに倉庫点検について  自助に次ぐ共助（或いは近助）の重要性は阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等を通じて強調されてきているが、  ①現時点における市内自主防災組織の数を伺う。  ②各自主防災組織において、自発的な訓練はどのくらい行われているのか伺う。  ③各自主防災組織が持つ基本的な資機材について、何を目的としてどのような物を配備しているのか伺う。  ④倉庫内備品並びに倉庫自体の点検について、誰がどのように担っているのか伺う。  ⑤コンテナ型の倉庫については建築基準法上の問題点も指摘されていると思うが、市内に現存するコンテナ型の自主防災倉庫について、設置はいつ頃からされているのか伺う。  ⑥自主防災倉庫の更新について、今後どのように考えられているのか市の見解を伺う。</p> <p>(2) 小型無人航空機（ドローン）運用について  平成29（2017）年から運用開始がされている小型無人航空機（以下、ドローン）であるが、その後も当該分野の技術は著しく向上し、また台数が捌けることから実勢価格も当時よりは落ち着いているかと考えれるが、  ①空撮用から農業用までドローンの耐用年数に幅はあるものの概ね5～7年となっているが、稲城市消防本部で所有するドローンについて更新予定はどうなっているか伺う。  ②現時点での使用用途について伺う。  ③災害用ドローンは緊急用務空域設定であり、人口集中地区（DID地区）が大半を占める稲城市内でも許可なく飛ばせるものか伺う。  ④更新の際には災害用から他事業への転用（例えば観光動画作成用など）も検討出来るのか伺う。</p>	

2	<p><u>団体間が共有する備品の活用について</u></p> <p>文化センターやふれんど平尾等をはじめとした市内の各公共施設には、施設を利用されている市民団体が設置して、その後他団体にも共同で利用されている備品も多く見受けられる。</p> <p>(1) 寄付品の引き取りについて 当初設置した団体が高齢化等で解散する等に当たっては、今後も他団体が引き続き使用出来るようにと当該備品の寄付を申し出される場合があると聞くが、</p> <p>①稲城市においては、金員以外の現物について、どのような基準を以って引き取り等に対応しているか伺う。</p> <p>②市が引き取りが出来ない場合に、他利用団体に不便が出ないように新たに市で同様の備品を購入することは可能か伺う。</p> <p>③引き取った場合に当該備品を維持管理するために費用が必要な場合、利用者公平性の観点から使用料などを徴収する等も含めての対応は可能か伺う。</p>	
3	<p><u>平尾地区の抱える諸課題（交通、商業）について</u></p> <p>前回に引き続いて平尾地区内における表題の件について確認をさせていただくが、</p> <p>(1) 交通改善について 上平尾消防出張所前交差点の右折信号について、早急な要請活動を行っていただき11月22日より供用が開始された。他にも交通関係の改善点が残っているが、</p> <p>①上平尾ひなた自治会会員の集会施設である『ひなたコテージ』付近の上平尾ひなた通りに横断歩道設置の要望があるが、その後の進捗状況を伺う。</p> <p>②上平尾ひなた通りと平尾外周通りの交差点は、信号設置を前提として旧道である平尾外周通りの線形改修工事まで実施したわけであり、現在も児童生徒らが平尾小学校へ向けて多く利用する交差点だけに一日も早い信号設置が望まれているが、その後の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 平尾団地商店街について スーパーヤマザキ跡地並びに三井住友銀行跡地の活用が望まれているが、JA東京みなみ等のご協力をいただき、週何回かでも団地商店街広場に野菜販売の出店を検討してもらうよう、依頼することは出来ないか伺う。</p>	

#### 稲城市の歳入増加施策について

市街地開発が進み、多くの方々に稲城市を選んでいただいたおかげで『市民税』並びに『固定資産税』を中心とした税収は増加の一途を辿っている稲城市であるが、同じ多摩ニュータウン地域として昭和46（1971）年同年に市制施行されたお隣り多摩市と稲城市とで、前回議会で取り上げられた決算カードを元に議員間で情報交換し、稲城市としては上記2税以外の増収を目指す必要性を改めて感じたところであるが、

（1）市町村民税（法人分）並びに法人事業税交付金の増収に向けた施策について

決算カードにおける歳入を見ると稲城市と多摩市とで人口等に比べ最も大きな差がある項目のひとつが法人関係である。

①稲城市としてこれまでに取り組んで来た上記の増収施策について伺う。

②企業誘致条例が適用された回数と、その効果により増となった税収と企業に対する優遇措置（5年間、固定資産税及び都市計画税に相当する額の100分の90を減額）とはペイ出来ている（または出来そうなの）か伺う。

③平成17（2005）年まで、大丸地区で操業していた富士通株式会社南多摩工場であるが、その撤退（川崎工場への集約）によって市税収入にはどの程度の影響があったのか伺う。

④今夏、IT専門調査会社IDC Japan 株式会社による発表では、来たる令和6（2024）年以降、東京や大阪等の大都市圏郊外ではデータセンター増設需要が強くなるとされる。稲城市として空いている土地に対して調整を努め、こうした企業誘致に本腰を入れることも必要ではないかと考えるが如何か。

（2）その他、稲城市の歳入歳出に関する施策について  
在りし日の「三位一体改革」は3兆円の税源移譲があったものの、税源移譲と共にあるはずの権限移譲だけがなされたり、地方交付税や補助金の削減が税源以上の減であったり地方自治体にとっては芳しくないわけだが、

①地方交付税内における法人税、酒税、消費税の各割合引き上げ等は稲城市としても声を上げているのか伺う。

②『たばこは地元で買しましょう』がスローガンに掲げられるほど、市町村たばこ税は購入した場所の自治体へ恩恵が大きいですが、稲城市としての取り組みを伺う。

③財政構造の弾力性指標である経常収支比率であるが、令和4年度において90%を超えた稲城市として今後の歳入増や歳出減にどう取り組み、改善を図られるのか伺う。